

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

ウィークリー・リポート

Weekly Report

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
T E L 0572-25-5100
F A X 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
H P http://tajiminishi.jimdo.com
会 長 加藤 真左子
幹 事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2512 例会 2018 年 6 月 21 日

6 月は親睦活動月間

最 終 例 会 セルバチコ 18 時

本日のプログラム

点 鐘
ロータリーソング 奉仕の理想 四つのテスト
会長挨拶
幹事報告
退会の挨拶 森田誠君
年間出席上位者発表 出席・スマイル委員会

お祝い

お誕生日 結婚記念日

点 鐘

懇親会

乾 杯
閉会の挨拶
手に手つないで



5 月のお誕生

11 日 松浦 毅君

6 月のお誕生日

7 日 松本昇君 12 日 加藤三紀君
23 日 齋藤明君
3 日 中島純子様 (竹壽君夫人)

出席表彰 第 52 期 例会 45 回 移動例会 13 回

例会	移動例会	全出席	大岩 順子 君
メーキャップ	1 回		佐藤 正 君
メーキャップ	2 回		関谷 泰久 君

例会ご出席有難うございます。
メーキャップカードを提出されないと
欠席扱いになりますのでご注意ください。

着信書類

- ・可茂ロータリークラブより閉会のお知らせ
- ・虎溪山文化の森プロジェクト事業会計報告

第 53 期ガバナー補佐訪問のご案内

8 月 9 日 (木) 例会場 点鐘 12 : 30
例会後 クラブアッセンブリー (特別会議室)
出席義務者 : 53 期役員 委員長 新会員

会長挨拶

加藤真左子

(前月からのつづき)



メンバーがお互いに意見を言い合っ
て、また尊敬し合ってこそロータリ
アンであり、周りから憧れを持たれ
るロータリークラブでありたいと願
う。何度も口にしているが、人は自

身の立場や身の丈を勘違いするほど厄介なものはない。ロータリークラブに限らず多くの方々にお目に掛かることによって自身を客観的に見て自分にはないものを吸収し、反対に余分なものを削ぎ落とす努力は必要であると思う。相手を知ることによって自分を知ることが出来る。そして、さらに相手を知ることが出来る。自分がしてほしいと望むことは相手も同じように望んでいるのではないだろうか。ロータリアンになって8年が経つが、このような考え方は益々強くなり、メンバーである限り学習の場であり続けるはずである。メンバーになって多くのことを体験した。地区幹事としてあらゆるイベントの裏方を勉強し、またクラブ内では会長、幹事としての職務、そしてIMの裏方も経験させて頂いた。楽しいことばかりではなく気が滅入ることもあったのが本音である。52期が始まる前になると他クラブも含めた会長経験者たちが、「始まってみればあつという間だよ」「幹事に任せて、会長はドーンとかまえていればいいんだよ」…等のアドバイスがあった。その通り、あつという間の一年間であり、ベテランの幹事のおかげでお知恵を拝借することができ、執行部、理事をはじめとするメンバーの支えによるところが大きいと改めて感謝するばかりである。大きな変化は出来なかったが、変化することを考えるバトンゾーンにはなっただのではないだろうかと思う。今期は新会員を2名迎えられる限りであり次期には「増」ばかりではなく「強」の部分に期待するところが大きい。改めてこの一年の皆さまのご協力に感謝し、次期へのバトンを渡します。本当に有難うございました。

先週の記録

● 出席報告

会員数 34名 免除者 4名 出席義務者 30名

出席者	欠席者	出席率
23名	7名	76.66%

● スマイル報告

投函者 14名 金額 18,500円



南消防署の皆様お世話になります。

加藤真左子 伊藤正雄

初めての社員旅行でユニバーサルスタジオへ行って来ました。楽しかった！ 森田宏治

可愛いお花をありがとうございました。加藤三紀
救命救急の活動に感謝して。 柴田武司

先週の例会

救命救急の講習会

多治見南消防署 宮島忠義様

MEDIC-T (機能別団員)

戸谷達也様 桑原勝美様

榊岡正代様 片桐昭三様



多治見南消防署で救急隊員しています宮島です。救命救急の講習会を行うことで、多治見市の救命率の向上を目指しています。我々だけの力ではなかなか向上することが出来ないのが現状です。年間1万人を目標にこういった講習会を10年ほど続けています。私は救急救命士の資格を持っていますので、最近では色々な処置が出来るようになりました。以前は心臓が止まった方にしか点滴や薬を入れることが出来ませんでした。現在は心臓が止まっていない方にも処置が出来るようになりました。しかし残念ながら、現場では蘇生率、救命率は上がってきません。ひとりでも多くの方に心肺蘇生法を学んでいただき救える命を増やしていきたいと思えます。また、AEDを直ちに使用することで救命率が約2倍になります。



今後の予定

6月28日(木) 特別休会

会計監査 13時 相談室

7月5日(木) **53期理事会** 特別会議室 11時

53期初例会 会長所信表明

副会長 幹事 副幹事 SAA 挨拶

例会後 **52期臨時理事会** 例会場 決算報告